

【作家性・作品性による評価】

1. プリツカー賞 (Pritzker Architecture Prize)
2. RIBAゴールドメダル (RIBA Royal Gold Medal)
3. AIAゴールドメダル (AIA Gold Medal)
4. ミース・ファン・デル・ローエ賞 (Mies van der Rohe Award)
5. 日本建築学会賞 (作品賞・技術賞・論文賞など)
6. 日本建築学会作品選奨
7. 日本建築家協会賞 (JIA賞) など

【維持管理や改修による長寿命化による評価】

- | | | |
|------------|-------------|------------------------|
| 1. BELCA賞 | 2. 公共建築賞 | 3. 環境・設備デザイン賞 |
| 4. JIA25年賞 | 5. グッドデザイン賞 | 6. リノベーション・オブ・ザ・イヤー など |

【SDGs・環境配慮に特化した評価】

- | | | |
|------------|----------|-------------------|
| 1. SDGs建築賞 | 2. 省エネ大賞 | 3. カーボンニュートラル賞 など |
|------------|----------|-------------------|

(参考) 建築・景観の表彰事例①

作家性・作品性による評価

1. プリツカー賞 (Pritzker Architecture Prize)
「建築界のノーベル賞」とも呼ばれ、世界で最も権威ある建築家個人に贈られる賞。
2. RIBAゴールドメダル (RIBA Royal Gold Medal)
英国王立建築家協会 (RIBA) が授与する世界的権威のある賞。
3. AIAゴールドメダル (AIA Gold Medal)
アメリカ建築家協会 (AIA) が建築界に顕著な貢献をした建築家に与える賞。
4. ミース・ファン・デル・ローエ賞 (Mies van der Rohe Award) など
EU現代建築賞とも呼ばれる賞。優れたヨーロッパの現代建築作品を顕彰。
5. 日本建築学会賞 (作品賞・技術賞・論文賞など)
建築全般、設計、技術、研究を対象とし、保存・再生案件も受賞作に含まれることがある。
6. 日本建築学会作品選奨
優れた建築作品 (新築・改修問わず) を表彰。
7. 日本建築家協会賞 (JIA賞) など
国内外で活動する日本建築家の優れた作品を顕彰。改修・リノベーション作品も評価対象。
8. BCS賞 (日本建設業連合会主催)
優れた建築作品に贈られる賞。新築だけでなく改修・保存再生も受賞作に含まれる。

(参考) 建築・景観の表彰事例②

維持管理や改修による長寿命化による評価

1. BELCA賞（ロングライフビル推進協会主催）
既存建物の適切な維持管理、改修による品質向上や長寿命化を評価する賞。リノベーション分野で特に著名。
2. 公共建築賞（公共建築協会主催）
公共建築物の品質向上を目指し、優れた公共建築を表彰。改修・リノベーションを施した公共建築も対象。
3. 環境・設備デザイン賞（建築設備技術者協会主催）など
建築設備や環境に配慮した建築物を表彰。既存建物の省エネ改修、設備更新による環境性能向上も対象。
4. JIA25年賞
25年以上の長きにわたり、建築の存在価値を発揮し、美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」を登録・顕彰。
5. グッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会主催）
プロダクトから建築・都市空間まで幅広く対象とし、建築の改修・リノベーションによる価値 創造、景観配慮・古民家改修も評価対象。
6. リノベーション・オブ・ザ・イヤー（一般社団法人リノベーション協議会主催）
既存住宅・建物のリノベーション事例を対象とした賞。

SDGs・環境配慮に特化した評価

1. SDGs建築賞（一般社団法人住宅・建築SDGs推進センター主催）
建築物として優れた作品であるとともに建築主、設計者、施工者および利用者の協力により、建築物の計画、生産、運用、廃棄にいたる全段階におけるSDGs達成に向けた顕著な取組で、その普及効果が期待されるSDGs建築物へ与える賞。対象は新築のみ。
2. 省エネ大賞（一般財団法人省エネルギーセンター主催）
産業、業務、運輸各部門における優れた省エネ取り組みや、先進的で高効率な省エネ型製品などを表彰
3. カーボンニュートラル賞（一般社団法人建築設備技術者協会主催）
カーボンニュートラル社会実現に向けた建築物、建築設備に関わる優れた業績を表彰。

- ✓ 過去から現在に至る幅広い時代を対象とする。
- ✓ 対象を建築物ではなく建造物とし、土木構造物、その他工作物も含める。
- ✓ 単体だけでなく集合も対象とし、特定のエリアまたは特定の作家の作品群の選定も可能とする。
- ✓ 解体による地域への影響という観点を加え、継承を求める根拠の一つとする。
- ✓ 専門的な観点だけでなく（3、4、5）、生活者の観点を含める（1、2）。
- ✓ 専門的な観点に、近現代建造物に特徴的な「建築思想」や経済・産業を含む社会課題解決への貢献という観点を
入れる。

基準のイメージ

- （1） 時代の流行の中心地として、人々に感動を与え、記憶に残るもの
（例） 渋谷109、渋谷タワーレコード、四条河原町阪急、アニメの舞台
- （2） 地域への愛着を育み、地域性又は界隈性を形成するもの
（例） 町家、看板建築、団地、横丁、海の家、商店街、温泉街
- （3） 著名な作者若しくは建築思想による作品、又はその他著名な作品
（例） 香川県立体育館、東光園、スパイラル
- （4） 技術的な独創性を有するもの
（例） 霞が関ビル、瀬戸大橋、海ほたる
- （5） 時代の社会課題解決への貢献が認められるもの
（例） 高蔵寺ニュータウン、名護市役所、直島家プロジェクト、NEXT21

○近現代建造物緊急重点調査における基準

- ・革新的な建築物〈革新性〉
- ・意匠に優れた建築物〈意匠性〉
- ・顕著な設計者の展開を示す建築物〈作家性〉
- ・技術の発展を示す建築物〈技術性〉
- ・ある時代の建築生産の典型を示す建築物〈時代性〉
- ・地域的な特色を明らかにする建築物〈地域性〉
- ・親しく利用され続けている建築物〈継続性〉

(参考) 建築・景観のリスト化～基準の例②

○DOCOMOMO JAPAN「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選定基準

1. 原則として1920年から、選定検討年度において、竣工後35年を経過しており、現存し、オリジナルの建築的価値を残している建物
2. 以下のいずれかを満たしており、保存・活用が望まれる建築物、あるいは建築的価値が使い続けられていくなかで継承され、また高められている建築物
 - a. 竣工当時において技術的（構造・設備・材料）な革新性を有している建築物
 - b. 竣工当時において社会改革的な思想（新しいコミュニティや労働形態などの提案）を有している建築物
 - c. 竣工当時において環境形成の観点（広場や建築群の構成、地域・風土への配慮）を有している建築物
 - d. 竣工当時においてモダン・ムーブメントの進展とそそのプロセスを顕著に示す時代性を有している建築物
 - e. 原則として、幾何学的な構成に基づいた審美性（非装飾）を有している建築物

○フランス国「傑出した現代建築」ラベルにおける基準

築後100年以内のビル、建築物群、土木構造物、整備のうち、その構想が、十分な建築的又は技術的重要性を示すものが、ラベル授与の対象となる。ラベルは、文化財として指定又は登録されるか、築後100年以上を経過したら抹消される。

「建築的又は技術的重要性」は以下の基準の観点から評価される。

- 1 作品の独自性（特異性）
- 2 建築的・都市的・景観的構想、施工技術又は技術史上の革新性、実験性
- 3 作品の名声（特に出版物における名声）
- 4 公共政策との関連における作品の典型性
- 5 建築運動や著名な思想と関連づけられたマニフェストとしての価値
- 6 全国的または地方的に知られた作家の作品又は作品群への帰属

○BELCA賞

<ロングライフ部門>

- ・建築物の基本的な構造または外観等が維持され、今日まで地域に根付いて長期にわたり使用されていること。
- ・所有者が建築物の長期使用に対して明確な意志を有し、そのもとに当該建築物の長期使用が実現し、また、計画されていること。
- ・設計者、施工者及び維持管理者が、当該建築物の設計、施工、維持管理において長期使用に対する適切な配慮をしてきたこと。
- ・今日における社会的存在として求められる補修・改修が適切になされている（今後なされることが確実な場合も含む）こと。
- ・今後10年以上にわたって使用するための維持保全計画書が適切に策定されており、地球環境に配慮し、かつ周辺・環境の維持・向上に寄与するような建築物の運営が、将来に向けて行われていくと認められること。

<ベストリフォーム部門>

- ・社会的・物理的な状況の変化に対応して、蘇生させるもしくは飛躍的な価値向上等をさせるリフォームがなされていること。
- ・所有者の長期使用に向けた明確なビジョンのもとにリフォームがなされていること。
- ・所有者・改修設計者・改修施工者の適切な連携のもとでリフォームが計画され、実施されていること。
- ・今日における社会的存在として求められる補修・改修はもちろん、地球環境に配慮し、かつ周辺環境の維持・向上に寄与するようなリフォームがなされている（従前になされた場合を含む）こと。
- ・今後の長期使用に向けて維持保全計画書が策定されていること。

○グッドデザイン賞

<人間的視点>

- ・使いやすさ・分かりやすさ、ユーザーに対してしかるべき配慮が行われているか
- ・安全・安心・環境・身体的弱者など、信頼性を確保するための配慮が行われているか
- ・ユーザーから共感を得るデザインであるか
- ・魅力を有し、ユーザーの創造性を誘発するデザインであるか

<産業的視点>

- ・新技術活用や創意工夫によりたくみに課題を解決しているか
- ・的確な技術・方法・品質で合理的に設計・計画されているか
- ・新産業、新ビジネスの創出に貢献しているか

<社会的視点>

- ・新しい作法、ライフスタイルなど、新たな文化の創出に貢献しているか
- ・持続可能な社会の実現に対して貢献しているか
- ・新たな手法、概念、様式など、社会に対して新たな価値を提案しているか

<時間的視点>

- ・過去の文脈や蓄積を活かし、新たな価値を提供しているか
- ・中・長期的な観点から持続可能性の高い提案が行われているか
- ・時代に即した改善を継続しているか

(参考) 建築・景観のリスト化～基準の例⑥

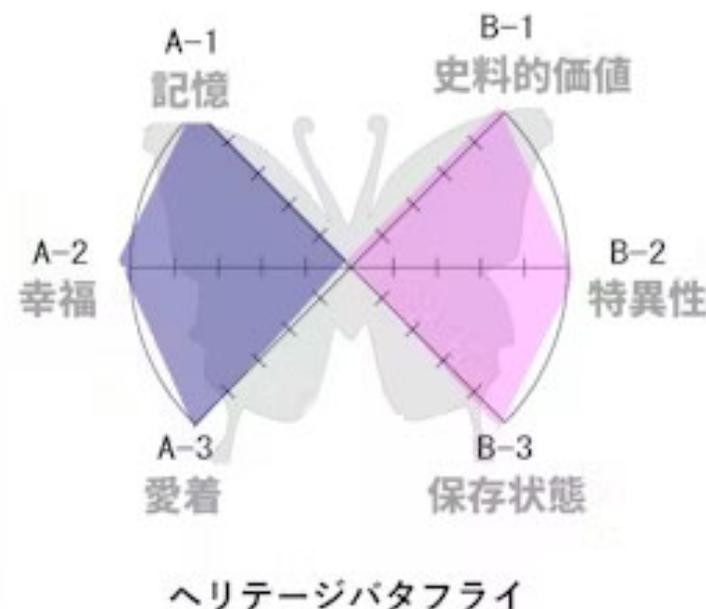
○東京大学による東アジア近現代建築データベースにおける基準

専門家の評価に加え、一般人の関心も評価に入れたヘリテージバタフライによる評価による基準。

羽の右側はいわゆる専門家からの評価、左側は一般の人による評価を意味する。

右上から、建築の歴史的評価、建物の状態、そして建物の特殊性の3つの基準のように、専門家的な評価をする一方で、それに対応するかたちで、例えばある建物に人々がたくさん思い出を持っていたり、誰かにインタビューするとある建物のことをよく知っていたり、そうした一般の人の関心も評価。「人々の記憶に残っているか」や「みんなが大切に使っているか」などを、愛着、記憶、幸福の三つの基準に従って評価。両方の羽根が大きいと上手く飛び立つ（継承される）。

評価軸		
	A. 専門家以外の人々	B. 専門家
1. 記憶に関する価値 (過去)	<ul style="list-style-type: none"> ローカルの人々の記憶 人類の記憶 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史研究にとっての史的価値
2. 将来への幸福に関する価値 (未来)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の人々に対する資源的価値 人類の幸福 人類に与える感動 	<ul style="list-style-type: none"> “古さ” 希少性 地域的な特徴 専門家へ与える感動
3. 状態に関する価値 (現在)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの愛着 生活の器としての価値 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保存状態 保存活用の可能性



出典：第29回研究会 文化遺産にまつわる情報の保存と継承

「アジア近代建築遺産データベースの40年：その展開・変容・課題」、林憲吾（東京大学生産技術研究所）

○土木学会デザイン賞

<技術と造形が調和したデザイン>

- ・技術と造形に対して、規範となり得る的確性、創造性または革新性を有し、周辺環境と構造物、全体と細部において、それらが調和することによってトータルな質の向上に寄与している作品

<時間の蓄積に耐えるデザイン>

- ・期待される機能を長期間発揮するとともに、時間が経つとともに作品を含めた空間全体の魅力や価値が増していくような工夫がなされている作品

<社会制度や仕組みのデザイン>

- ・作品の実現に向けたプロセスにおける事業手法、検討体制、維持管理など、現状の社会制度や仕組みに対して柔軟かつ適切な創意工夫がなされている作品

<豊かな公共性を有するデザイン>

- ・利便性や快適性の向上、環境との調和、様々な活動の許容など、利用者の観点から十分な考慮と工夫がなわれ、かつそれらが適切なコスト・資金、資源（資金、人的資源、使用材料、エネルギーなど）によって実現されており、豊かな公共性を有する作品

<地域の生活・文化創造に向けたデザイン>

- ・地域固有の歴史、文化、景観等について十分に理解するとともに、作品においてそれらへの配慮、工夫を行うことにより、地域の生活・文化創造の展開への寄与が期待される作品